

## 認知症に関する活動計画(概要)

鹿児島県作業療法士協会では、2014年より「かごしま認知症OTネットワーク」を設置し、現在27名のネットワーク員とともに活動しています。『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』(以下、基本法)を進めていくため、地域や行政と共に様々な事業に取り組んでいます。また、新しい認知症観に立ち本人と伴走できる作業療法士が、基本法の推進に伴い必要になります。そのような作業療法士を育成すること、認知症を抱えた方に対し作業療法士が出来ることを広く啓発するためにも活動しています。

## 2025年度取り組み

### ● 研修会・公開講座

**OT向けスキルアップ研修会 1/25開催**  
『認知症フレンドリー社会を目指して作業療法士は何が出来るのか』  
講師:仙波梨沙先生  
(熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科准教授)



**公開講座 6/14開催**  
『認知症とともに  
- 私らしい暮らしを考える -』  
講師:山中しのぶ氏  
(一社)セカンドストーリー代表理事  
(一社)日本認知症本人WG代表理事



これらの研修会や公開講座には、様々な領域のOTが参加しました。また、県若年性認知症支援コーディネーターや認知症の当事者とその家族、家族の会のメンバーも参加し、意見交換することが出来ました。

### ● 県・生協coopかごしま・家族の会との取り組みや連携

#### ● 県との共同事業

鹿児島県には、認知症について学びたいと思う県民がいつでも気軽に学べるコンテンツとして「認知症の人にやさしい学びあいプラットフォーム」が県のHPにあります。認知症の正しい理解を広めることを目的として、認知症に関する情報を動画を交えながら伝えるものです。今回、かごしま認知症OTネットワークが本人向けに生活行為についての動画を作成することとなりました。



#### ● 生協co-opかごしまとの共同事業

2018年に生協コープかごしま、鹿児島大学医学部保健学科と鹿児島県作業療法士協会が提携し、もの忘れでお困りの方と支援者のための『くらしのあれこれヒント集』を作成しました。今年度は、このヒント集の改定に取り組んでいます



#### ● 認知症の人と家族の会・県若年性認知症支援コーディネーターとの連携

公開講座やヒント集の作成に当たり、顔の見える関係性を築くことが出来ました。今年度、鹿児島県認知症の人と家族の会が企画するアルツハイマーデーの記念講演はネットワーク員が「認知症のリハビリテーション」について講師を務めます。